

慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	田口 精一教授 略歴・ 主要業績
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1989
Jtitle	法學研究：法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.62, No.12 (1989. 12) ,p.393- 395
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	田口精一教授 平良教授 退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19891228-0393

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

田口精一教授 略歴

大正一五年一月七日生

昭和二十四年三月 慶應義塾大学法学部法律学科卒業

昭和二十四年四月 慶應義塾大学法学部助手

昭和二十七年四月 慶應義塾大学法学部助教

昭和三十六年四月 慶應義塾大学法学部教授

昭和四一年 西ドイツ シュバイヤー行政大学留学（昭和四二年まで）

平成元年三月 選択定年により慶應義塾を退職

平成元年四月 慶應義塾大学法学部名誉教授

その間、司法試験審査委員、日本公法学会理事、一橋大学法学部講師、日本大学法学部講師、杏林大学社会科学部講師、学習院大学法学部講師、国税庁税務大学校講師、警察庁警察大学校講師、常磐大学人間科学部講師等を兼務

田口精一教授 主要業績

著書(共著)

- 『憲法講座2』
- 『憲法の基礎知識』
- 『体系憲法事典』
- 『憲法講義』
- 『全訂憲法の論点』

論文

- 『ボン憲法における社会法治国家について』
- 『社会的法治国家についての考察』
- 『ボン基本法における人間の尊厳について』
- 『ボン基本法における人格の自由な発展の権利について』
- 『私人相互の関係における人権の保障』
- 『ボン基本法における基本権喪失条項の意義について』
- 『人格の自由な発展の基本権と他人の権利』
- 『生活環境をめぐる人権の競合と調整』

青林書院新社

昭和四五年

改訂版

法学書院

昭和四八年

青林書院新社

昭和四三年

有斐閣

昭和四一年

有斐閣

昭和三八年

法学研究二九卷一―二―三三三号

昭和三一年

公法研究一五号

昭和三一年

法学研究三三卷一二号

昭和三五年

法学研究三六卷一一号

昭和三八年

公法研究二六号

昭和三九年

法学研究三七卷九号

昭和三九年

法学研究三八卷六号

昭和四〇年

法学研究四六卷三号

昭和四八年

「人権の第三者効力と法秩序の維持」

法学研究四七巻五号 昭和四九年

「私人相互の法律関係と人権規定」 『体系憲法判例研究（有倉遠吉教授還暦記念Ⅱ）』

昭和四九年

「人権の国際化」

公法研究四三号 昭和五一年

「社会生活における人権保障の実現」

法学研究五六巻一一号 昭和五八年

「基本的人権の社会生活における限界」 『公法の基本問題（田上穰治先生喜寿記念）』

昭和五九年

翻 訳

カール・ヘルマン・ウーレ 『ドイツ連邦共和国における公法の発展』

慶應通信 昭和四六年